

嬉野医療センターを受診された患者さまへ

研究情報公開について

通常、臨床研究を実施する際には、文章もしくは口頭で説明・同意を行い実施します。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いた研究については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要です。

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用、または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	特定行為看護師による覚醒試験・離脱試験実施の効果
研究責任者（所属名）	救急科 山田成美
本研究の目的	重症患者さんの全身管理において、集中治療室（ICU）や救命救急センター（HCU）では気管挿管・人工呼吸器装着を行うことがあります。人工呼吸器を外す際には覚醒試験・離脱試験を規定の方法で実施し、安全な抜管・人工呼吸器離脱を心がけています。現在当院には特定行為看護師研修を修了した専門的知識を有する看護師が多数在籍しており、医師に代わって人工呼吸器離脱の手順をすすめることができます。今回この研究で特定行為看護師が覚醒試験・離脱試験に積極的に介入する効果を確認し、特定行為看護師の業務を体系化することで、今後の診療をより円滑に行うことができると考えています。
調査データの該当期間	2023年 1月から 2024年 12月まで
研究の方法 （使用する試料等）	上記期間に、ICU および救命救急センターに入室し人工呼吸器管理を受けた患者さまの、電子カルテおよび医事算定情報を使用します。 調査内容は、人工呼吸器装着日数、特定行為看護師の介入の有無、覚醒試験・離脱試験実施時の記録やオーダーの有無、再挿管や気管切開実施の有無などです。 新たな検査や情報収集は必要ありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から、氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除した状態で取り扱われます。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 （利益相反）	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：0954-43-1120（代表） 担当者：管理課長
備考	